



2007 ~ 2008 年度
R I テーマ

ROTARY SHARES

ロータリーは分かちあいの心

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン(国籍・カナダ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	平野英壽	理事	桜田健治	役員	会長	森 宗明	SAA	上妻 浩
"	村津忠久	"	河村貴雄	副会長	副会長	平野英壽	直前会長	上妻 浩
"	津末美代子	"	後藤孝弘	幹事	幹事	大島由美子		
"	後藤 隆			会計	会計	近藤賢司		

VOL . 20 - 6
2007 年 8 月 21 日

第 878 回 例会

会報委員長 徳丸 一郎

点 鐘 12:30
体 操 自律神経強化体操
R S 別府中央 R.C. の歌
唱 歌 海
B. G. M 「小川明子の日本歌曲選」より
赤とんぼ
この道
かえろかえろと 他
ビジター 浦松 傳 (別府北 R.C.)

出席報告

委員長 中島 澄人

本日	会 員 総 数	22 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
出席	出 席 免 除	0 名
	欠 席 数	3 名
	出 席 率	81.82 %
前々回の訂正	出 席 率	72.73 %
	事後メイクアップ	5 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
7/24	修 正 出 席 率	100 %

連 続 1 回
通 算 728 回 100 %

・メイクアップ

事前 梅津 (別府東)
事後 衛藤、木村、溝部、鳴海、徳丸 (別府)
欠席 桜田、河村、津末

幹事報告

幹事 大島由美子

- 会員増強および拡大月間 -

1. 本日の内容
『大分県の中の朝鮮半島』 溝部 仁会員
2. 第 2 回定例理事・役員会報告
(平成19年8月7日(火)13:40~於:トキ八別府店例会場 10名)

審議事項

1. ガバナーより「美里町水害・中越沖地震災害に対する義捐金」協力依頼の件。
* スマイルより @1,000 × 22名 = 22,000円

会長の時間

会長 森 宗明

識字について

RIのプログラムにも「識字率の向上」というのがありますが、これについて少しお話しします。日本では読み書きと言うことですが、これができないことを「文盲」とか非識字といいます。そこで現状を知る上で国別の識字率を見ていきますと、例えばアジアでは、中華人民共和国、中国で90.9%、インドは58%、パキスタンも比較的低くて41.5パーセントです。アフガニスタンはまだ低くて、36.3パーセントです。ちなみに日本は99.8パーセントです。その他の国ではたとえばアフリカのナイジェリアでは66.8パーセント、ニジェールは多分最も低くて17%だそうです。ヨーロッパではロシア、エストニア、ポルトガル等何処も99パーセントを越えています。ちょっと意外だったのが、アメリカの80%です。くわえてアメリカでは、国民のうち英語をまったく話せない人がおよそ1000万人も居るそうです。

先日もお話しましたが、ここでもやはり平和が確立されていない国、例えばインドとパキスタンのように戦争状態に長くある国の識字率は低いようです。数字では探せませんでしたが、中近東あたりの識字率は低いことが予想されます。識字率と平和とは切り離せないバロメータのようなところがありそうです。



2. 大分県産婦人科医会より「おぎやー献金運動」協力依頼の件。*募金箱回覧
3. 月見例会の件。*承認
日時 平成19年9月25日(火) 18:30~
場所 割烹ゆめさき
会費 5,000円(+1,650円例会食費)
4. 8月・9月例会予定の確認
8月7日「会員増強フォーラム」高田由子会員
14日「定款第5条第1節(C)により休会」
21日「会員卓話」花田健治会員
28日「会員卓話」赤嶺リサ会員
9月4日「IA韓国親善事業報告」
溝部学園高等学校生1名、担当顧問
「会員卓話」木村きぬ系会員
11日「会員卓話」上妻 浩会員
18日「会員卓話」鳴海淳郎会員
25日「月見例会」
5. 決算報告・予算書の件。
*承認(記念品はクラブ負担とする)
6. 別府中央ロータリークラブ普通預金口座代表者変更の件。
*岩尾昭治会員退会の為、河村貴雄会員に変更。
3. 第24回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会開催のお知らせ
試合日程 平成19年10月28日(日) 雨天中止(順延なし)
開催時刻 9:00~入場行進 10:00~開会式(Bグラウンド)
場所 別府野口原ソフトボールグラウンド A・B面
懇親会 別府ホテル清風 18:00~ 会費7,000円
ホスト 別府東ロータリークラブ
第24回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会対戦表

A グラウンド		B グラウンド	
A 1	杵 築 - 別府東 10:00~10:50	B 1	別府中央 - 日出
A 2	別府 A - 湯布院 11:10~12:00	B 2	別府北 - 別府 B
(昼食 12:00~12:45)			
A 3	別府東 - 別府 A 13:00~13:50	B 3	日出 - 別府北
A 4	杵 築 - 湯布院 14:10~15:00	B 4	別府中央 - 別府 B
A 5	決勝戦 15:15~		

次回の例会より、選手、懇親会参加者の回覧を致します。

4. お祝い
会員誕生日 高田 由子会員(8月24日)
配偶者誕生日 高宮 貴子さん(8月23日)
*記念品をお渡し致します。
5. 例会変更のお知らせ
別府RC 8月24日(金)の例会は、サッカー観戦例会の為 8月25日(土)19:00~九石ドームに日時・場所変更
大分1985RC 8月27日(月)の例会は、玖珠RCとの合同野外例会の為 8月25日(土)11:00~豊後高田市見目に日時・場所変更
大分RC 8月28日(火)の例会は、野外家族例会の為 8月26日(日)九重夢大吊橋に日時・場所変更
佐伯RC 8月29日(水)の例会は、定款第5条第1節(C)に基づき休会
別府東RC 8月30日(木)の例会は、定款第5条第1節(C)に基づき休会
佐伯MARINE RC 8月31日(金)の例会は、夜例会の為 同日18:30~ホテルニュー佐伯に時間変更

- 別府RC 8月31日(金)の例会は、創立55周年記念リハーサル例会の為同日 12:30~つるみ荘に場所変更
6. 次週の予定(原稿をお願い致します。)
「会員卓話」赤嶺リサ会員
「会員コラム」亀井 孝会員
7. 本日の回覧
おぎやー献金募金箱
「別府ロータリークラブ創立55周年記念式典」
出・欠席
8. 本日の配布
週報 No.877
『退会防止について思う』
鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス 委員長 赤嶺 リサ

浦松様
溝部先生の横に座ってしまい、本日は卓話とのことで、途中退席せず最後まで拝聴することになります。
森会長
溝部先生、卓話の件、無理なお願いを聞き入れていただきありがとうございます。いつもより男前に見えます。
平野会員
浦松社長、ようこそいらっしゃいました。倫理法人会でなかなか会えませんので、ロータリーで会えてうれしいです。
大島会員
皆様、残暑お見舞い申し上げます。
又、ビジターの浦松様、ようこそ越し下さいました。今日は久しぶりに溝部先生の卓話を楽しみにしております。
高宮会員
暑いですねー、とにかく暑いですねー。
今日は妻の誕生日祝い、ありがとうございます。これを見た途端、ゾーッとしました。「何かプレゼントを買わねば」フトコロが寒くなりました。
上妻会員
ロータリーの例会が週一回というのは、やはり素晴らしいと実感しました。この所、一週おきだったので淋しいというか、間が抜けたという感じでした。
村津会員
例年、初夏の頃から颯爽と飛ぶ燕ですが、今年はまだ一度もその姿を見ていません。私だけの偶然でしょうか。夏の終わらないうちに会いたい想いを託してスマイル。
近藤会員
苦節40年、とうとう念願のゴールド免許証を手に入れましたが、もらってみると普通の免許証に少しだけ金のラインが入ったものでした。次回は全面ゴールドのカードがもらえるように無事故、無違反で頑張りたいと思います。
後藤孝会員
残暑大変きびしい今日この頃です。皆さん、体に十分気をつけて頑張ってください。
亀井会員
何日か前の合同新聞に鳴海先生の記事が載っ



ていました。ますます健康で研究にはげんでいただきたいと思いました。

高田会員

8月24日で53才になります。50才になってから早いですね。健康に気をつけてまだまだ頑張ってください。

赤嶺会員

今日も本当に暑いです。本日の気温37℃となっておりまして。まだまだ残暑厳しいですが、皆様お身体に気を付けて下さい。

今日は、浦松様ようこそ。溝部先生、今日の卓話楽しみにしています。

椀田会員

今日は私の卓話の日ですが、保健所の2才児の歯科検診があるため出席できません。大変申し訳ございません。又、急遽卓話をして下さる溝部先生にはご迷惑をおかけします。宜しくお願いします。

卓 話

溝 部 仁

大分県の中の朝鮮半島

1 はじめに

前回の卓話で、宇佐・安心院や玖珠などの地名、玖珠の武内神社や国東の「ホーヤク祭り」は、朝鮮語で解説できると論述した。今回は、宇佐八幡宮の最大の祭祀である、「行幸会」に関する事柄を解説してみたい。

2 宇佐八幡宮の行幸会(ぎょうこうえ)について

福岡県田川の香春岳で産出した銅から、銅鏡を作製し、中津の大貞八幡宮の薦(こも)(水草〔注1〕)を枕に編み、宇佐八幡宮にお供えすると宇佐八幡宮と関係の深い八撰社(箇所)巡幸が始まる。この祭祀の創始は、八世紀頃に遡るが、開始時期や祭りの全容などは、時代によって、大きく変わっている。従って、これらについては、別な機会(すでに拙稿で発表)に触れてみることにして、今回は、巡幸する郷(場所)に絞って、考察してみたい。

〔注1〕薦は、白鳥が好む餌である。白鳥は、鍛冶師の最も崇敬する動物である。この理由は、白鳥は、秋に(生まれる)飛来し、春(死)いなくなる。そして、また、秋に(生まれる)飛来するので、死からの再生に脅威を感じたのである。この状況は、当時の鍛冶師の炉は、一回限り(死)で使用できないために、次にまた炉を作る(生まれる)ということと非常によく似ているために、白鳥を崇拜したのである。因みに、白い狐や白鷺も鍛冶師が崇拜している動物である。

1 香春岳と朝鮮

結論から先に言えば、香春岳の地名は、朝鮮語から解説できる。「朝鮮語辞典」で(〔1〕険)を引くと、『가파르다』である。『カパルダ』となる。最後の『다』であるが、『である』という意味となる。私も七年前に香春岳に行ったが、とても山の姿から(〔1〕険)山という印象は、抱けなかった。むしろ、残骸とあっていい姿であった。因みに、背振山も朝鮮語である。

2 中津大貞八幡宮と朝鮮

この神社には、有名な池がある。御澄池(みすみみ)〔三角ともいう〕音から迫る方法を導入してみた。まず、『ミ』であるが、朝鮮語で『ミ』は、『미』と書く、この字には、いくつが同音で、意味の違う言葉がある。この中で、『優秀』を採用したい。次に、鍛冶師(八幡大神)が使う燃料を考えてみた。炭である。炭は、『숯』、発音は、『スツ』である。合わせて、『ミ

スツ』すなわち『ミス』に近付いてきた。最後の、『ミ』であるが、『미』の中に、『도』を指すと『朝鮮語辞典』に書いている。発音は『トオ』である。この言葉も同音で、違う意味があるが、この中で、『頭目』と『指揮者』という意味を採用したい。合わせて『ミスツミ』となり、『優れた炭を作る頭目』となる。しかし、これでは、『作る』を付加しなければ、意味が成立しない。ここで、断念しそうになったが、『도』の中に、感嘆の意味を表す、とも書かれていた。結論を急げば、『優れた炭ダナ』となる。この事実からも鍛冶師の祭祀であることが類推できるであろう。

3 八撰社巡幸

封戸(ふへ)郷田笛社

最初に巡幸するのが、封戸郷田笛社に行く。封戸も安心院と同様に、とても読めない。解析の前に、同字で封戸(ふこ)について説明しておきたい。衆知のように、封戸といえば、大化の改新によって定められた貴族・官僚に対する給与制の一種であるが、標榜の郷は、宇佐八幡宮の神領の封戸であるので、何故、わざわざ封戸(ふこ)ではなく、封戸(ふへ)と称するようになったのか、不思議ではなからうか。『フベ』の音から朝鮮語で迫ってみたい。『フ』は朝鮮語で『후』という。『ベ』もしくは、『베』は、『배』という。この二つの韓国語を合わせると『후배』となる。発音は、『フーベ』である。意味は、(〔2〕後拝)となる。

向野(むくの)郷鷹居(たかい)社

『豊前志』によれば、『下矢部村、福貴野村等の由の字に向野あり。…以下略』と述べているように、古代は、向野ではなく、『ムクタ』と称されていた可能性が極めて高いことが推測できよう。このように類推して行けば、古代の向野は、朝鮮語の『ムクタ』と呼ばれており、宇佐八幡宮を創建した新羅からの渡来人の関係者が居住していたために、彼らとの親睦、安否を尋ねるために(〔3〕宿泊)していた可能性が極めて高い。この傍証は、駅館である。

辛嶋郷瀬社

『瀬社』や『郡瀬社』と呼ばれていた。この社の由来については、すでに朝鮮からの影響が強いことは定説(辛嶋勝目に比定)となっているので、論述しないが、朝鮮からきている可能性は、極めて高い。この社の所在地である、『樋田』という言葉調べてみると、『뽕다』という言葉がある。発音は『ビダ』である。意味は(〔4〕水が曳く)とある。『行幸会道』にも「瀬社の裏には、船渡があった。」と述べているように、古代は、水が豊富にあったのではなからうか。しかし、ある時期に、水が曳き、八幡神は、怒って前述の鷹居社に遷座されたと推理すると、荒唐無稽な『八幡宇佐宮御託宣集』の内容と一致すると考えられる。

泉社(酒井泉社)

『豊前志』に、注目する記述がある。「辛嶋村なる泉社を酒井社とも云う」とあるので、このあたりがこの社の由来である可能性が高い。

高家乙咩(たけいおとめ)社

高家と書いて、『タケイ』とはとても読めない。やはり、朝鮮語の影響があると推測できるが、残念なことに『豊前志』には、不明である。と書かれている。『太宰管内志』と『角川日本地名大辞典四四大分県』に高家のところに、『タカエ』とも称していた、と書かれていた。これにヒントを得て、次のような解析を試みた。

『タカエ』の『タ』は、朝鮮語で、『다』と書く。発音も『タ』である。この字には、いろいろな解釈があるが、『多数』という意味がある。まず、こ



れを生かすことにしたい。次に、『カエ』であるが、いろいろ調べてみたが、適切な朝鮮語がない。しかし、次のような言葉を探ることができた。すなわち、『가야』という言葉である。発音は『カヤ』である。そうあの朝鮮南部にあった(〔5〕伽倻)である。二つの解析を合わせると、『タカヤ』となる。すなわち、『伽倻から渡来した者が多く居住していた。』となる。大方のご批判とご叱責をお願いしたい。

大根(おおね)川社

『角川日本地名大辞典四四 大分県』によれば、「鎌倉期からみえる地名」と解説しているのだから、かなり難解である。案の定、各種史料を探したが、案の定、大根川はなかった。そこで、『朝鮮語辞典』で、『オオネ』の発音を調べると、『오내』があった。発音は、『オオネ』である。意味は(〔6〕漢方)の『五内』と『五臓』である。これが正しいのであれば、昔、この周辺は、漢方薬で有名となっていた可能性がある。今後の史料の発掘と現地調査に努力したいと考えている。

妻垣(つまがき)社

妻垣、妻垣(つまがけ)ともいわれる。この言葉についても、かなり悩んだ。というのは、『ツマ』の『ツ』という音が朝鮮語はないからである。これに近似するのは、『チ』・『チュ』・『チュ』などである。これらの中で、伝説に近い言葉を探したが、なかなか見つからなかった。そこで、発想を変えて、本来の『妻』を選択した。妻を朝鮮語で『치』という。発音は、『チョ』である。次に『垣』であるが、朝鮮語で、『담』という。発音は『タム』である。『ム』は小さく発音する。二つを合わせると『チェタム』である。とても『ツマガキ』にはならない。次に垣の音であるが、『ガキ』と『カギ』の音から迫ってみた。この伝説に近い言葉を探せたのである。すなわち、『가기』である。発音は、『カギ』という。意味は『佳期』(恥ずかしながら、私も初めてこんな熟語があることを知った。)である。神武天皇の媒酌がどうかは、疑わしいが、新羅からの渡来人のリーダー、彼は、宇佐八幡宮を創建することにも尽力した男であろう。その名は、菟狭津彦?である。一方、安心院の地には、朝鮮半島からの別な渡来人のグループが居住しており、大胆な仮説であるが、永年にわたり抗争が続いていたと考えられる。そこで、菟狭津彦?の妹の菟狭津媛?を安心院に居住するリーダーに嫁がせたのではなからうか。戦国時代の政略結婚を考慮に入れれば、理解も容易であろう。このように類推して行けば、伝説のとおり、彼の妹、菟狭津媛?が『妻となった佳期』である。と考えられる。

辛川社(ここは、大神宝の銚だけ供える。従って、考察しなくともよいが、あえて付加する。)

この名も『辛嶋』の『辛』からきている可能性は極めて高い。

小山田社

大神比義が御幣を捧げて奉仕したのが、菱形池であるが、次に鷹居社に鎮座された。鷹居社については、すでに前述したとおりである。次に鎮座したのが、この小山田社であるが、この社については、残念ながら、史料がない。音も『小山田』であり、日本語と考えられる。しかし、向野郷にあるので、新羅系の渡来人が、後世小山田周辺に住むようになったために、この社に巡幸したのではないかと推察される。そこで、あえて、朝鮮語で迫ってみたい。『어야』と書いて、『オヤ』と発音する。『朝鮮語辞典』によれば、『어야』の次の単語に『어야만』発音は『オヤマン』という言葉がある。意味は、『してはじめて』、『してこそ』や『すれば』がある。要するに、『小山田社』に『巡幸してはじめて』ということになる。最後に、『タ』であるが、朝鮮語で『다』、『タ』と発音する。意味は、『である』や『感嘆を表す』とある。これらを合わせると、『オヤマンタ』が、後世、『オヤマダ』に転訛した可能性は、極めて高いと推測することができよう。

3 むすび

これまで述べてきたように、宇佐八幡宮は、新羅からの渡来人の神であることは、定説となっている。そうであれば、日本の史料をいくら調べても真実は、解明できないのではないかと考え、朝鮮語から、大分県の祭事や地名を解析し考察してきた。この結果、これまで、大分県で発表された『大分県地方史』を代表として、いくつかの辞典や論文は、改正を余儀なくされているといって、過言ではない。また、今日まで、真実は相当含まれているが、一部荒唐無稽とされてきた『八幡宇佐宮御託宣集』は、朝鮮語から迫ってみると、荒唐無稽では、すまされなくなることも解明できた。

本日の卓話、ほとんど、結論のみであり、詳細は、九月に森宗明会長のところで、印刷するので、さらに興味ある方は、印刷物(70枚弱)をお配りしたい。なお、行幸会は、八撰社巡幸が終わると、新しい御験(みしるし)で、豊後高田の来縄から奈多八幡宮に巡幸する奈多行幸会がある。これで、本当の行幸会が終るのである。これについてもすでに脱稿しているが、2つを入れると、100枚をはるかに超えるので、今回は、前段の八撰社巡幸のみを卓話した。

会員コラム

梶田 健治

いま、「格差社会と健康の不平等」が問題になっている。「公衆衛生国際交流シンポジウム 2007」でもテーマのひとつに「社会格差と健康」が取り上げられた。

ハーバード公衆衛生大学院教授のイチロー・カワチ氏は、国民の健康には社会的な要因が大きく影響していることを強調し、中でも所得格差の拡大は、不健康をもたらし、健康の不平等を拡大する最大の要因であることを指摘した。

ご存知のように、国民所得の低い国は高い国に比べて平均寿命が短い。なにになぜ世界で一番GDPが多い米国が先進国の中で平均寿命が最下位なのか?(米国は世界の医療費の半分を使っているにもかかわらず。)カワチ氏は、米国社会の所

得格差の拡大及び総資産の偏在に原因の一つがあると述べている。

又、日本人の長寿は、食生活や遺伝的要因だけでなく、医療や公衆衛生施策の成功による部分もあるだろうが、高い教育水準と所得配分の平等に依拠するところが大きいとも言っている。

しかし、カワチ氏は、日本ではここ数年で雇用の不安定化や所得格差の拡大が顕著になっていることを指摘し、「このままでは日本が誇ってきた健康長寿社会は早晩損なわれてしまう恐れがある」と警告している。

[イチロー・カワチ著『不平等が健康を損なう』

日本評論社刊 参考]

次回は、亀井孝会員です。